

片瀬だより

令和3年6月25日 発行
 編集・発行 片瀬だより編集委員会
 藤沢市片瀬3丁目9番6号
 片瀬公民館
 電話 (29) 7171
 F A X (25) 8907

片瀬公民館(本館)

公民館事業のお知らせ

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、急遽中止・変更になる場合があります。

◎ 申込は、すべて本館へ電話または来館で(平日のみ午前8時30分～午後5時)

片瀬・江の島浮世絵展～広重と絵師たちの名所～

7月17日(土)から23日(金/祝) 入場無料
 開場時間午前9時から午後5時まで
 2階ホール・第3談話室
 ※19日(月)は休館日とさせていただきます。
 23日(金)は午後3時閉場です。



おもちゃの病院

7月17日(土)・8月21日(土)・9月18日(土)
 午後1時30分から3時30分まで
 ※原則、無料で修理しますが、部品代がかかる場合があります。

楽しく子育て

① 8月19日(木)午前10時から正午まで 第1談話室
 「大きな紙に絵をかこう！」乳幼児と保護者8組
 申込:8月12日(木)から

② 9月16日(木)午前10時から正午まで 第1談話室
 「子育て相談・ふれあい遊び」乳幼児と保護者8組
 申込:9月9日(木)から

夏休み子ども事業「工作教室」

～動いて楽しいオリジナルおもちゃを作ろう!!～
 8月4日(水)午前 低学年(1年生から3年生まで)
 午後 高学年(4年生から6年生まで)

※詳細は、学校配布のチラシをご覧ください。



イルカ学級(乳幼児家庭教育学級)～はじめの一步～

9月3日～11月19日 全11回 午前10時から11時30分
 毎回金曜日(9月12日・26日は日曜日)
 ☆1歳6か月以上の未就園児と保護者12組(地区内、初めての方優先)

申込:7月19日(月)から30日(金)までに Eメールの件名に「イルカ学級」とし、住所、保護者氏名(ふりがな)、子どもの氏名(ふりがな)と生年月日、電話番号を書いて『fj-kata-shio@city.fujisawa.lg.jp』へ

おひざの上のおはなし会

9月21日(火) 午前11時から正午
 乳幼児と保護者5組(先着順)
 申込:8月18日(水)午前8時30分から電話または来館で
 ※8月はお休みです。

子ども事業(防災体験)予定

9月下旬予定
 ※詳細は、学校配布のチラシをご覧ください



片瀬しおさいセンター

講師付き公開講座

7月9日(金)午後7時から8時まで
 『自然の香りの中でストレッチ』
 講師 柳生 紫訪子氏
 申込:6月29日(火)から

7月21日(水)午前9時30分から10時30分まで
 『自然治癒力＝氣を高めましょう』
 講師 猪俣 達子氏
 申込:7月6日(火)から

8月3日(火)午前9時30分から10時30分まで
 『簡単ストレッチ&ピラティス』
 講師 飯田 理香氏
 申込:7月20日(火)から

8月27日(金)午後7時から8時まで
 『体幹エクササイズ』
 講師 山口 俊彦氏
 申込:8月10日(火)から

9月14日(火)午前9時30分から10時30分まで
 『自然の香りの中でストレッチ』
 講師 柳生 紫訪子氏
 申込:8月26日(木)から

※各回定員20人。詳細は広報をご覧ください。

楽しく子育て「親子リズム」

7月15日(木)10時から正午まで
 乳幼児と保護者10組
 しおさいセンタートレーニング室
 申込:7月7日(水)から

手芸のじかん

6月28日(月)・7月26日(月)
 8月23日(月)・9月27日(月)
 午前10時から正午まで
 しおさいセンター工芸室

夏休み子ども事業

～スポーツ講座「ビーチボール」～
 7月27日(火)及び28日(水)両日とも午前中
 対象:小学生
 ※ 詳細は、学校配布のチラシをご覧ください。



卓球開放

7月11日(日)・8月7日(土)・22日(日)・19日(日)
 午後1時30分から2時50分まで、午後3時10分から4時30分まで

バドミントン開放

7月11日(日)・8月22日(日)・9月19日(日)
 午前9時から10時20分まで、午前10時40分から正午まで
 7月31日(土)、9月11日(土)
 午後1時30分から2時50分まで、午後3時10分から4時30分まで

はじめまして

新たに片瀬小学校・中学校に着任された教頭先生をご紹介します。

片瀬小学校

森谷 雅子 教頭先生



4月1日、高谷小学校から異動し、片瀬小学校教頭として着任いたしました森谷雅子(もりやまさこ)と申します。藤沢生まれ、藤沢育ちではありますが、この片瀬地区に携わるのは初めてのことになります。

子どもたちの成長には、学校・家庭はもちろんのこと、地域の皆様のお力が大変大きいと感じております。片瀬小学校の子どもたちの笑顔のために努めてまいります。地域のみなさまのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

児童数 753名
教職員 52名

(2021年4月5日現在)

片瀬中学校

池田 裕 教頭先生



この度、伝統ある片瀬中学校に着任し、大変身の引き締まる思いであります。皆様には、日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

コロナ禍ではありますが、本校スローガン「いつも ニコニコ 一生懸命」を実践していき、生徒たちの明るく元気な姿を通じて、地域の皆様にも活力を与えられればと考えています。

また、生徒たちが、地域の皆様とのふれあいを通じて、郷土愛を育み、地域を支えられる存在となつてもらえるよう、保護者との連携を深め、地域の皆様のご支援・ご協力をいただき、教職員一同、学校運営をしていきたいと考えております。何卒、よろしくお願いいたします。

生徒数 452名
教職員 37名

(2021年4月5日現在)

新企画

片瀬の老舗を訪ねて(1)

片瀬には創業以来50年、80年、または100年以上と長い間、地元の人々に愛され、片瀬には無くてはならないお店がたくさんあります。お店の歴史や想いを伺いました。

「湘南堂」

第1回に登場して頂くのは、洲鼻通りにある「湘南堂」さんです。

創業は昭和12年。場所は現在と同じです。当時はパンの製造が珍しく、茅ヶ崎や鎌倉などへ卸していたそうです。現在も掲げられている看板の電話番号にご注目。局番がありません。電話の普及が低かった時代を彷彿とさせる看板です。



現在の看板です。局番がありません

お店は「湘南堂のおばさん」として親しまれている五島三江さんと頼もしい三代目社長の敬介さんが製造と販売を行っています。仕込みは早いときは午前2時から、通常は3時から始まります。昼前に焼きたてのパンが店頭に並びます。

昭和12年開店時の写真が飾られていました



また、片瀬中学校との繋がりは古く、およそ60年前、中学校が現在の市民会館の場所にあったころ、学校前の文房具店にパンを卸していたのがそもそもの始まりだったそうです。生徒たちが県道(現在は国道)を横断してパンを買いに行くのが危険と判断した学校からの依頼で、中学校での販売が始まったそうです。

今は、前日に注文を受けたパンが白い紙袋(ずっと変わっていない)に詰められ学校に運ばれます。多くの生徒たちのお腹を満たしてきたのですね。「今でも卒業生がパンを買いに来してくれるのよ」と嬉しそうにお話される三江さんの優しいお顔が印象的でした。

五島三江さんと三代目の敬介さん



東日本大震災から十年 ハザードマップを更新

今年は東日本大震災から十年となります。被災地復興は未だ道半ばですが、鮮明な映像が今も記憶に残っています。しかし時を経て、危機意識は薄れてきているようです。

藤沢市では、県の新たな災害想定に基づいて、ハザードマップを作成し、市民センター等で配布しています。

新たな津波ハザードマップは、五つの想定地震による地域の浸水状況と津波の高さや到達時間を記しています。相模トラフ沿いの地震では、西浜海岸では最大高さ8.8mの津波が8分で到達と推測されています。マップには等高線が細かく記され、津波避難ビルや指定緊急避難場所の位置や収容人数も表示されています。

土砂災害・洪水ハザードマップは土砂災害警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域の位置と境川等の河川浸水想定区域を色分けして示しています。

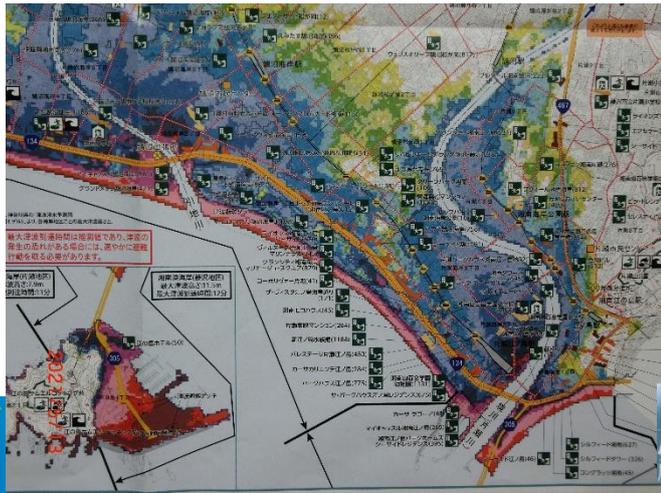
洪水や浸水時の深さは5段階で表示され、新たに洪水浸水による家屋倒壊等の想定地域を表示しています。

マップは5段階の警戒レベルの意味や対応した行動も分かりやすく示されています。ハザードマップを参考に、各家庭に応じた災害対策を是非考えてみてください。

4面片瀬ワンショットの答え「小田急線江の島駅前弁天橋の上」です。



土砂災害・洪水ハザードマップ
藤沢市 南部



津波ハザードマップ
片瀬

およばれされる五重塔

個人の家、あるいは公共の施設において、宝物のように大事に保管されているものがあるのではないのでしょうか。子どもたちが通った、あるいは孫たちが通う片瀬小学校に、長く大事に保管されていた五重塔があります。

昨年の秋、片瀬小学校にお邪魔した際に、校長先生から、五重塔の模型が片瀬中学校に移転されるという話を伺い、天井を突き抜けるような五重塔を、どのように運搬するのかと思いました。

この五重塔は、片瀬小学校の隠れた宝物、大きさと言ひ、綿密な技術は素人ながらも驚きを禁じえません。

この五重塔の模型についての記録は「お話 片瀬・江の島子ども風土記」(平成9年5月15日発行)にあります。それによりますと、奈良・法隆寺の五重塔小塔の十分の一で、片瀬小学校元窓会長甘糟三郎氏の遺言により、寄贈されたとのこと。この五重塔は、山形の宮大工佐藤正吾さんが、父親と二人で約1年近くかけて造られたようです。

子どもたちや地域の方々が五重塔の模型に触れることにより、改めて奈良・京都の歴史に興味を抱く一里塚になるのではないかと期待をしています。



わたしの散歩道①

1日1回は戸外に出ようとの思いで足の向くまま、ゆるい散歩に出ます。ジョギングする人、犬を連れられた人にも会います。

大きな鯉が泳ぎ、カモや鶉も見られる境川の川沿いが好きです。弁天橋、山本橋、西浜橋...と上っていく。途中、山本公園には子育て中の賑やかなアオサギの声や姿が見られます。下藤ヶ谷公園の池にはカモ、カメ、カワセミの姿も見かけることがあります。

また、ボランティアの方が植えられた花を愛することもできます。

時には、寄り道して自分への褒美にと自宅近くの和菓子店で、四季折々の味を楽しみます。

転ばぬようにと注意して歩いています。(佐)

らと
か橋
橋の
本西
山の
丹沢



ふるさと片瀬

〜今昔あれこれ③〜

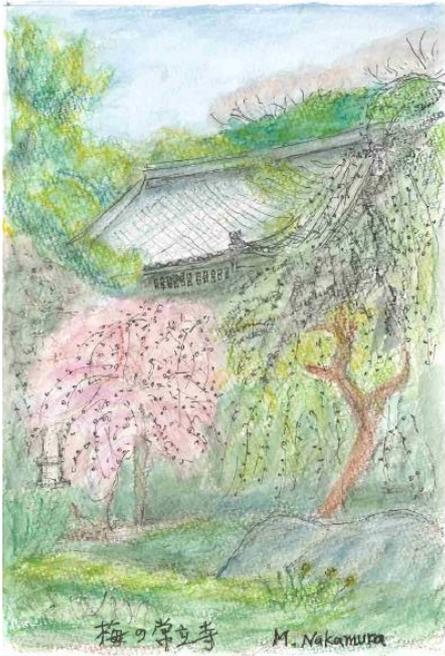
中村 喬

元使塚の話

二〇〇五年四月だった。大相撲藤沢場所の折に、当時の横綱朝青龍や白鵬、そしてモンゴル出身の力士達が常立寺を訪れた。縁があつて私もその場に参加させて貰うことができた。

訪問の目的は元使塚への参拝であつた。異国の地に果てた母国の先人達の霊を慰める力士達の行動に心打たれたことを覚えている。

先人とは文永の役の翌年、元の王の国書を持って海を渡ってきた杜世忠ら五人の使者である。五人は執権北条時宗の命によって、この地で処刑されたのだつた。横綱朝青龍が元使塚に青い布を巻いて祈りを捧げた姿が忘れられない。聞くところによると「青」はモンゴルでは不変の空と忠誠を表すとのこと、国旗の中央にも青が使われている。



【青き布巻かれて五基の塔並ぶ
元使の塚に梅の花散る】

今、常立寺は紅白の梅の美しさで多くの人を集めているが、元使塚から青い布が消えることはない。また元使の霊に心を寄せて塚を築いた日本人の思いも忘れてはなるまい。

私が子どもだった頃、常立寺の山門の脇を小さな川が流れていた。常蓮寺川といつた。本蓮寺の前を通り常立寺の傍を過ぎて片瀬川に注いでいたのでこの名がついたのであろう。旧道には橋がかかつていて常蓮寺橋と名付けられていた。

常蓮寺川は暗渠となつてしまった。橋ももうない。

クローズアップ片瀬

「タブノキの葉(ひこばえ)」

密蔵寺の向かいの空き地に大きなタブノキがありました。残念ながら、昨年根本から伐採されました。切り株をのぞくと大きな洞が見え、老木であったことがしのばれました。その後、切り口から次々とひこばえが成長し、今では3メートルを超えるまでになりました。学校帰りの小学生たちが珍しそうに見ていることもあります。逞しく成長する若いひこばえの姿に、木の生命力の強さを感じます。



片瀬のワンショット

Q このプレートがどこにあるかご存じですか?
(答えは3面です)



図書館だより

市内に在住、在勤、在学の方なら、一人6冊まで2週間借りられます。

〈開室時間〉

火曜日〜日曜日

午前10時〜午後5時

〈新刊案内〉

「オルタネート」 加藤 シゲアキ

「魂手形」 宮部 みゆき

「チンギス紀⑩星芒」 北方 謙三

「クララとお日さま」

カズオ イシグロ

「祇園会(新・吉原裏同心抄 4)」 佐伯 泰英

「なんで家族をつづけるの?」 内田 也哉子・中野 信子

【児童】

「みんなの津波避難 22のルール」 永野 海

「かみしばい」

アンパンマンとばいきんまん」 やなせ たかし

編集後記

コロナの収束が見通せず、不安な毎日です。巣ごもりが続く、出会いの機会も減っています。人と人をつなぐのことは「ことば」です。片瀬だよりが伝える「ことば」が、地域の皆様の絆づくりに少しでもお役に立てば幸いです。

「おはよう」の路地の挨拶梅雨晴間

(中)